

【勤務の特徴】 「出勤日」 →出勤してタクシーに乗務する日
「上り日」 →休みで、拘束されないが、出勤簿上は勤務でカウントされる日
(タクシーは1日の勤務時間が長く、1日で2日分、2日で3日分といった勤務になるため。)
「公休日」 →休みの日

勤務体系	一週間のシフト例								メリット/特徴
隔日勤務	ダイヤ	月曜日 出勤日	火曜日 上り日	水曜日 出勤日	木曜日 上り日	金曜日 公休日	土曜日 公休日	日曜日 出勤日	【特徴】1日おきの勤務、正確には出勤と上りを6回繰り返した後で公休2日の14日サイクル。 【メリット】1日の勤務時間は長い、月の出勤日数が12~14日程度と少なく、月に2回は上り公休公休で3連休も可能となる。
	勤務時間	朝7:00 ~ 深夜2:00	勤務 しないで よい日	朝7:00 ~ 深夜2:00	勤務 しないで よい日	勤務 しないで よい日	勤務 しないで よい日	朝7:00 ~ 深夜2:00	
	拘束時間	19.0		19.0				19.0	
	休憩時間	3.0		3.0				3.0	
	実働時間	16.0		16.0				16.0	
	ダイヤ	月曜日 出勤日	火曜日 出勤日	水曜日 上り日	木曜日 出勤日	金曜日 出勤日	土曜日 上り日	日曜日 公休日	
勤務時間	朝7:00 ~ 夜10:00	朝10:00 ~ 深夜1:30	勤務 しないで よい日	朝7:00 ~ 夜10:00	朝10:00 ~ 深夜1:30	勤務 しないで よい日	勤務 しないで よい日		
拘束時間	15.0	15.5		15.0	15.5				
休憩時間	2.5	3.0		2.5	3.0				
実働時間	12.5	10.5		12.5	10.5				
ダイヤ	月曜日 出勤日	火曜日 出勤日	水曜日 出勤日	木曜日 上り日	金曜日 公休日	土曜日 出勤日	日曜日 出勤日	【特徴】3日出勤して上りを繰り返す勤務。 初日朝6時~夜7時、2日目朝8時~夜9時、3日目昼12時~深夜3時と、始業終業時刻が変動する。 【メリット】朝と夕方~夜の、売上が集中するコアの時間帯を勤務しつつ、隔日や2日出番のような長時間勤務を抑えることができる(最終日の3日目だけ長い)。 出勤出勤出勤上りを3回繰り返して公休公休の14日サイクルにすれば3連休も可能。	
勤務時間	朝6:00 ~ 夜7:00	朝8:00 ~ 夜9:00	昼12:00 ~ 深夜3:00	勤務 しないで よい日	勤務 しないで よい日	朝6:00 ~ 夜7:00	朝8:00 ~ 夜9:00		
拘束時間	13.0	13.0	15.0			13.0	13.0		
休憩時間	2.0	2.5	3.0			2.0	2.5		
実働時間	11.0	10.5	12.0			11.0	10.5		
ダイヤ	月曜日 出勤日	火曜日 出勤日	水曜日 出勤日	木曜日 出勤日	金曜日 出勤日	土曜日 上り日	日曜日 公休日		【特徴】昼間だけの勤務体系、深夜時間の勤務はなし。 【メリット】朝は早い、一般的なビジネスマンと同じような勤務体系で、夜勤をせず、夕方には勤務を終えることができ、隔日や3人制勤務と違い、毎週土日に休みを取ることができる。
勤務時間	朝6:00 ~ 夜6:30	朝6:00 ~ 夜6:30	朝6:00 ~ 夜6:30	朝6:00 ~ 夜6:30	朝6:00 ~ 夜6:30	勤務 しないで よい日	勤務 しないで よい日		
拘束時間	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5				
休憩時間	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5				
実働時間	9.5	10.0	10.0	10.0	10.0				
ダイヤ	月曜日 出勤日	火曜日 出勤日	水曜日 出勤日	木曜日 出勤日	金曜日 出勤日	土曜日 上り日	日曜日 公休日	【特徴】夜間だけの勤務体系、日勤勤務と真逆で夜が主体の勤務となる。 【メリット】タクシーの売上が集中する夜の時間帯をメインで勤務するので、高い売上を得ることが可能となる。 日勤勤務と同様に、毎週土日に休みを取ることができる。	
勤務時間	夜6:30 ~ 朝6:00	夜6:30 ~ 朝6:00	夜6:30 ~ 朝6:00	夜6:30 ~ 朝6:00	夜6:30 ~ 朝6:00	勤務 しないで よい日	勤務 しないで よい日		
拘束時間	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5				
休憩時間	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5				
実働時間	8.5	9.0	9.0	9.0	9.0				